

令和6年度護持会会計報告

入金の部

款	項	項目名	摘 要	収入金額	備 考
1		繰越金	前年度繰越金	▲ 260, 171	
2		護持会費	令和6年度入金	3, 731, 568	1口10, 000内訳（護持会費7, 000営繕積立金3, 000）
		合 計		3, 471, 397	

支出の部

款	項	項目名	摘 要	支払金額	備 考
1	1	振込金	振替手数料	70, 249	343口
		小 計		70, 249	
2		保険料			
	1		自動車	100, 000	
	2		保険（火災・地震・家財）	501, 510	
		小 計		601, 510	
3	1	租税公課			
			宗務所費	136, 120	
		小 計		136, 120	
4		仏具等			
	1		正法堂（暦）	139, 030	
	2		丸井紙店（金方除）	49, 938	
	3		仏具費	311, 400	
	4		日蓮宗新聞社	123, 000	新聞、その他
		小 計		623, 368	
5		事務通信費			
	1		常清寺だより（年2回）	123, 200	
	2		封筒・はがき代	124, 580	
	3		ホームページ保守管理	201, 902	
	4		送料等	239, 257	
	5		事務機器メンテナンス・事務費	526, 900	事務機器購入費、宛名印刷機リース代含む
		小 計		1, 215, 839	
6		営繕費			
	1		消防設備点検改修工事	287, 980	年 3 回
	2		自動ドア定期保安料	95, 040	
	3		電気安全保安管理費	198, 000	
	4		本堂扉塗装費	27, 500	
	5		1階ホール照明器具交換	22, 000	
	6		不要物処分費用	130, 550	
		小 計		761, 070	
		支出合計		3, 408, 156	
			次年度繰越金	63, 241	

護持会会長

護持会会計

護持会会計監査

我妻隆介

矢島昭八郎

有泉春夫

以上の通りご報告致します。

寺 報

常清寺だより

住 職 挨 拶

榮玉山 常清寺 第二十三世

住 職 片 山 慶 宣

向暑の候、檀信徒の皆様お健やかに過ごしのことと存じます。

さて、この原稿も四月二十四日が締め切りなので取り急ぎ書かせて頂いております。私も住職として最後のご挨拶となります。平成十六年二月先代二十二世一慶院日随（片山宣英）上人が遷化され宗門より四月第二十三世住職を拜命し、早いもので先代の来年二十三回忌を迎えます。そして開山三百五十年節目の年を迎えるにあたり檀信徒の皆様にも貴重な財源を頂戴し記念事業もほぼ完成致しました。大きな行事としては五月国持会、七月お施餓鬼法要、十一月の三百五十年慶讃法要が、檀家の皆様の前での導師が

最後となります。十一月十八日開山三百五十年慶讃法要と第二十四世法燈継承入寺法要を予定致しております。九月のお彼岸ごろにご案内を差し上げます。住職在任中檀信徒皆様から頂いたご厚情に深く感謝に堪えません。新住職誕生後私以上にご指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

今回は大変悲しいお知らせですが当山筆頭総代武村統身様が任期満了に伴い大野隆司様が筆頭総代をお請け頂き来る工事完成、慶讃法要、入寺式と身延山にて開催される住職認証式を大変楽しみにされていた矢先令和六年十一月三十日突然ご逝去され御家族も信じられない状況でした。開山三百五十年、並びに新住職入寺式の準備工事の新着状況で度々お寺において頂き貴重なご意見を頂戴して頂いています。心よりご冥福をお祈りいたします。

次期筆頭総代は間野健司様に決定致しました。当寺報にご

施 餓 鬼

「施餓鬼会」「施餓鬼法要」と呼ばれております地域によつては「川施餓鬼」「海施餓鬼」が行なわれます。

お釈迦様の弟子阿難尊者の前に口から火を吐いている餓鬼があらわれて「おまえの寿命はあと三日だけで、死んだら餓鬼になる」といわれます。

そこで、お釈迦様に教えられたお経を唱え、餓鬼に飲食の施しを行うことによって寿命を延ばして天寿を全うできたと伝え伝えられております。

仏教では、地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天、声聞、縁覚・菩薩・仏と十個の世界がある

と考えます。

日蓮上人は「瞋は地獄、貧は餓鬼、痴は畜生」すなわち怒るのは地獄の心、貧るのは餓鬼の心、愚かなのは畜生の心と述べられております。人はみな、心の状態によって、仏様の世界にいることもあれば、餓鬼界にいることもあるのです。

★工事も無事完成しました。葬儀式場も一階、地下ご利用、人数によつては地下のみのご利用とご自由にお選び頂けます。

★法要後のお食事等にもご利用頂けます。常清寺特別料金にてご紹介も致します。

午前十一時より

新盆の方中心の法要

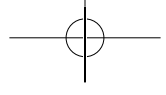
午後二時より

一般の檀信徒中心の法要

大変恐縮ですが、お塔婆のお申し込みは、六月中にご返信下さい。

お 願 い

住所変更、電話番号の変更等必ずお寺にご連絡宜しくお願い致します。又宜しければ携帯電話の番号を教えて頂ければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。



副住職のお便り

法灯継承にあたって

副住職 片山 徳宣

合掌

寒い冬も終わり、もうすでに四月現在で半袖で過ごしております。今年の夏を迎えるのに戦々恐々といったしております。

さて、私事ではありますが常清寺の二十四世を継承する日が迫ってまいりました。このお寺で生まれ育ちいつかは住職になるのは理解してましたが、いよいよ時期が近くになると覚悟や未来図的な事を考える様になります。私の場合は口伝で父である住職からある程度の引継ぎが出来るのが幸せかもしれません。父の場合は先代が遷化してからの継承でしたので。ただ、それでも身が引き締まる毎日です。想像が現実になる。開祖から二十三世の時代の重み、歴史を継ぐに生半可の気持ちでは成

「開山三百五十年記念事業 での建物室内工事が完了。」

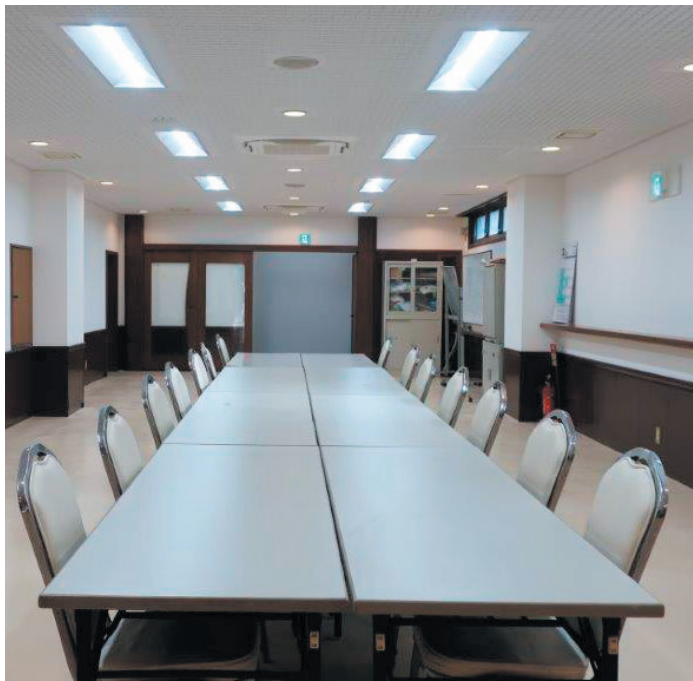
檀信徒の皆様から頂戴いたしました浄財を基に、これまで法界萬靈供養塔の建立、隣接地の購入、境界擁壁の改修、駐車場の改修などを行って来ましたが、そして昨年末から建物の内装工事に着手して来ましたが今年二月に完了致しました。

具体的には、

- ① 一階ホールと地下ホールの床、壁、天井の張替え、照明器具と空調機器の取り換え
- ② 寺務所の壁張替え、照明器具の取り換え、雨漏り箇所修理
- ③ 一階トイレの壁と天井の張替え

等です。一階と地下のホールの写真を載せましたが室内がとても明るくきれいになって檀信徒の皆様のご利用に当たってはきつとご満足いただけるものと思います。

尚、記念事業の工事関係はこれで全て終了となります。工事期間中のご協力誠にありがとうございました。



地下ホール(奥から入口方向)



1 階ホール



地下ホール



地下ホール(入口から奥方向)

常清寺役員異動のお知らせ

昨年十一月、筆頭総代を務めになられていました大野隆司様のご逝去されました。

後任の筆頭総代に行政上の手続きにのっとり総代の間野健司様が就任なさいました。ここに間野新筆頭総代様からのご挨拶を掲載致します。

常清寺檀信徒の皆様へ



筆頭総代
間野 健司
(六十三歳)

「筆頭総代としての抱負」

歴史ある常清寺様の檀家の皆様のご代表となり

大変なお役目に重責をひしひしと感じております。私の祖父良太郎も筆頭総代を務めさせて頂きましたが、祖父と比べて私はまだまだ未熟で何が出来るか？不安ではあります。

しかしお受けした以上は粉骨碎身お寺のため働かせて頂く覚悟でございます。

一人で出来る事には限界がございますので、

今後共、私達の常清寺様で隆盛のためにも是非お檀家の皆様のご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

「常清寺檀信徒に望むこと」

最近はどうのお寺もお寺離れが進んでいる状況ですが、私たちが今あるのはご先祖様のおかげでございます。お寺は私たちのご先祖様をお守り頂いている大切な存在です。

また混沌とした世の中をどのように生きるか？と言う精神的な支えでもあります。

お檀家様が離れる理由は経済負担に依る所も大きいと思いますので、皆様にご負担をお掛けしないよう、今後お寺様が自立出来る道を考えて参りたいと存じます。

「趣味・信条・座右の銘など」

『吾唯知足』

幸不幸は自分自身の心持ち次第です。知足の心で幸せに暮らしたいものです。